

特集 決算報告

平成23年度

平成23年度の一般会計と5つの特別会計の決算が、9月に行われた町議会第3回定例会で認定されました。今回は、皆さんから納めていただいた税金等がどのように使われたのか、町の決算状況についてお知らせします。

一般会計

一般会計は、私たちの暮らしに欠かすことのできない福祉や教育、防災、生活環境などにかかるお金の収支です。

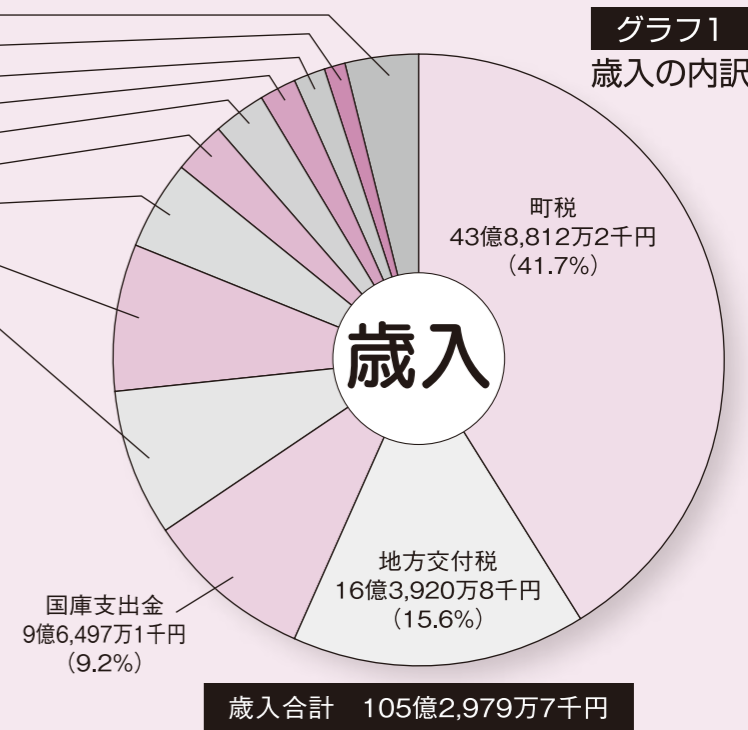
歳入(2.0%減)

一般会計の歳入の内訳を表したものがグラフ1で、平成23年度の歳入は105億2,979万7千円で、前年度に比べて2億1,280万4千円(2.0%)減少しました。主な内容は次のとおりです。

町税(0.5%減)

歳入の41.7%を占める町税は、東日本大震災や急速な円高の影響を受け、個人・法人ともに収入減額が前年度を下回りました。また、固定資産税や都市計画税も地価の下落傾向により減収となりました。一方で、軽自動車税、町たばこ税および入湯税は前年度を上回りました。特に、町たばこ税は平成22年度中の税率改正の影響から、前年度比18.3%増となりました。これらにより、全体では前年度比2,092万7千円の減となりました。

グラフ1 歳入の内訳



歳入合計 105億2,979万7千円

地方交付税(2.5%減)

行政サービスの一定水準を確保するための財源を補てんするため国が交付する普通交付税は、前年度比2.2%減、また特別な財政需要に対して交付される特別交付税は5.8%減となり、全体では前年度比4,220万7千円の減となりました。

県支出金(9.2%減)

8億1,647万5千円 障害者自立支援給付費負担金の増加等がありました。また、保育所緊急整備事業の完了や、みんなに親しまれる駅づくり事業の補助金の減等により、全体では前年度比8,316万8千円の減となりました。

国庫支出金(2.4%増)

9億6,497万1千円 安全・安心な学校づくり補助金の減少等がありました。子ども手当交付金の増加等により、全体では前年度比2,303万7千円の増となりました。

歳出(1.9%減)

歳出は100億5,411万1千円で、前年度に比べて1億9,314万5千円(1.9%)減少しました。また、目的別に歳出を表したものがグラフ2で、最も多

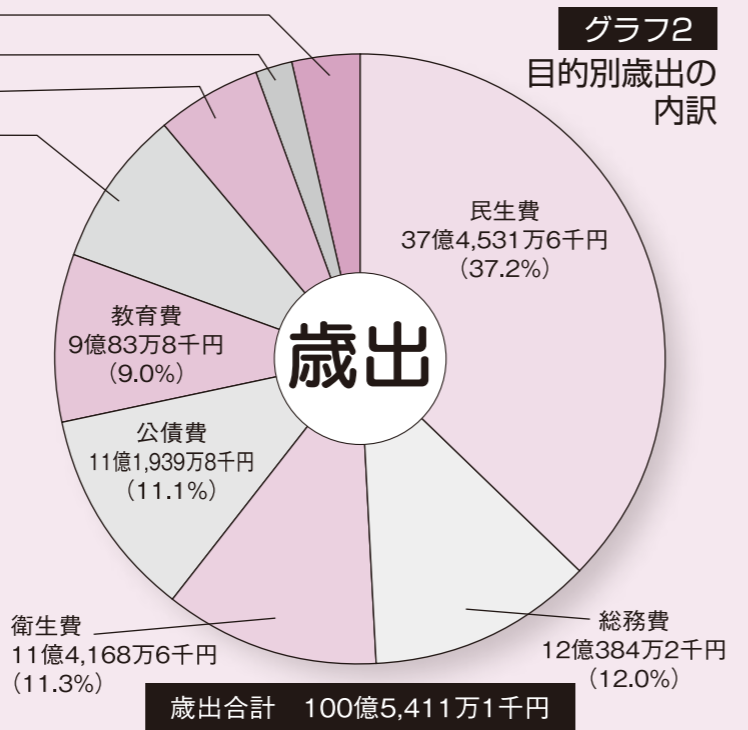
主な事業

く使われたのが民生費、次に総務費、衛生費、公債費、教育費の順になっており、町民1人あたりに使われたお金は、別表2のとおりです。

子ども手当給付事業 6億729万7千円
 障害者自立支援給付事業 4億5,168万8千円
 保育委託事業 3億917万円
 ほかに 医療体制強化事業、敬老祝金給付事業、隣保館運営事業など

民生費(3.1%減)

グラフ2 目的別歳出の内訳



歳出合計 100億5,411万1千円

別表1: 町民1人当たりが負担した町税 12万1,441円の内訳

区分	金額
固定資産税	61,709円
町民税	49,127円
町たばこ税	6,140円
都市計画税	2,283円
軽自動車税	2,041円
入湯税	141円
特別土地保有税	0円

平成24年3月31日現在住民基本台帳人口で算出しています。

別表2 町民1人当たりに使われたお金 27万8,245円の内訳

区分	金額
民生費	103,651円
総務費	33,316円
衛生費	31,596円
公債費	30,979円
教育費	24,930円
土木費	23,565円
消防費	15,416円
農林水産業費	5,460円
その他	9,332円

平成24年3月31日現在住民基本台帳人口で算出しています。